

みなさんにエールを送る福祉のしごと情報紙

# YELL

エールは、介護施設・事業所にとってタイムリーで役立つ情報を届けするとともに、介護の職場で働いている人・働きたい人を応援する情報紙です。

「人にあえーる（会える）」  
人と人とのつなげること  
(マッチング)が大好きな  
“あえーる”ちゃんも  
応援しています！



特集

## 介護職自身が誇りを持つ 「セルフリスペクト」を高めるために

介護職応援プロジェクト 私たち(社会)から介護職へ伝えるリスペクト  
—現役介護職と伝える 介護の魅力発信— シンポジウム

# 介護職自身が誇りを持つ「セルフリースペクト」を高めるために

## 介護職応援プロジェクト

私たち（社会）から介護職へ伝えるリスクペクト  
－現役介護職と伝える介護の魅力発信－

### シンポジウム

令和6年12月7日（土）、「介護職応援プロジェクト」として、介護の魅力発信のためのシンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、社会の多くの方に介護の魅力・介護職の価値や魅力について理解してもらい、社会の側から介護職へ「リスクペクト」を伝えることで、介護職のセルフリースペクトを高めていくことを目的として、岩手県立大学社会福祉学部松永研究室が主催し開催されたものです。



一般社団法人KAIGO PRIDE  
理事の小口貴幸氏

〈小口氏の講演内容から〉

## 介護の仕事は、カッコいい 介護は日本の真ん中の仕事になる

現状において、残念ながら介護の仕事は大変であるとか、ネガティブな印象を持たれることもあります。そうした中で、介護職自身が自らの仕事の価値に気づいていないこともあります。

本来、介護の仕事は、目の前の人はどうすれば自らの日常を送ることができるか、幸せになれるかを考えるクリエイティブな仕事です。これらの時代になくてはならない価値のある仕事である可能性がたくさんあります。

介護職のリアルな声やかつこよさを、様々な形にして社会へ届けるための活動を通じて、介護職へのネガティブなマインドや無関心という社会の空気をポジティブに変化させ、介護職の素晴らしいことを世の中に知つてもらつことが重要です。

## クリエイティブのチカラで 「介護職員自身に誇りを」

シンポジウムの前半（第一部）では、一般社団法人KAIGO PRIDE理事の小口貴幸氏が「現役介護職員と共に行う魅力発信の大切さ」をテーマに、介護人材不足の現状や課題、KAIGO PRIDEの活動や取組、介護職の魅力発信の重要性などについて講演しました。

現役介護職の方から「介護は人の尊厳を守る仕事」「人の役に立つことを毎日実感できる」など、仕事のやりがいや魅力について、多くの素晴らしいお話を聞いています。

介護職のポジティブな部分を様々な切り口で魅力発信する際に、その中心にいるのは当事者の介護職の人ではなくてはなりません。介護職一人ひとりの魅力の真ん中である、介護職一人ひとりのマインドを指しています。一番重要なことは、当事者の介護職の方が自らの仕事に誇りを持つことです。

彼らの胸に宿るセルフリースペクト（介護という仕事への誇り）を社会に届け、それを見た社会の側が介護職の価値や魅力を理解し尊敬するという循環が、介護職のセルフリースペクトを高めることにつながると信じています。

## KAIGO PRIDE とは



詳しくはHPをご覧ください

## KAIGO×Creative

厚生労働省が主導する「介護施設等における生産性向上に資するパイロット事業」の一環として2019年にスタート。日本介護福祉士会をはじめとする全国のパートナーと共に、様々な業界との異業種連携により介護の新しい力を見つけ、「誰もが自分らしく安心して暮らせる社会」につなげていく活動を広げている。



会場に展示された現役介護職をモデルにした「KAIGO PRIDE ポートレート作品」



左から小口さん、小笠原さん、千葉さん、伊藤さん

手県内の現役介護職3名と、一般社団法人KAI-GO PRIDE理事の小口氏によるトーケーションが行われ、それぞれが介護の仕事に対する思いや、やりがいを自らの言葉で語りました。

# 現役介護職が語る介護の魅力 介護の楽しさ

## ●特別養護老人ホームサンタウン松園

## 介護職員 小笠原 花恋 さん

高校生のとき母が祖父の介護をしている姿を見て介護分野に关心を持ちました。福祉系大学卒業後、現在の職場に入り2年目です。認知症の方の介護を通じ、利用者さんそれぞれの世界があることが楽しく、また奥深くその人に伝わる言葉を日々探して関わっていくことはすごい技術が必要と感じています。

皆さんにも、自分事として介護を考えてほしい、興味を持つ  
てもらえばと思います。

## ●訪問介護みんなのものがたり

サービス提供責任者 千葉 優希 さん

以前は看護師になりたいとも思っていましたが、母が曾祖母の介護をしていたことが印象に残っており、「生活を支える人になりたい」と思い介護職への進路を決めました。訪問介護の仕事をする中で、耳が不自由な利用者さんなどもおられますが、様々工夫しながらコミュニケーションがとれた時などはとても嬉しいです。利用者に寄り沿い、人生のお手伝いすることが、在宅で地域に住み続けられるまちづくりにつながると思っています。



## 「介護職のセルフリスペクトを高める」

岩手県立大学社会福祉学部 松永 繁 氏

これまで、介護に従事している側から「介護の仕事・介護職の魅力」についての発信が社会になされてきました、しかし、介護の魅力を十分に理解しておらず、セルフリスペクトができていない(低い)介護職も存在しています。

社会の側が「介護の仕事・介護職の魅力」に気づき、「リスペクト」を介護職へ伝えることで、介護職のセルフリスペクトを高めることにつなげていきたいと考えています。社会・介護職の双方が、介護の魅力・介護職の価値や魅力を理解していくことを目指し、今後も取組みを行っていきたいと思います。

岩手県立大学

KAIGO PRIDE

介護職応援プロジェクト

私たち(社会)から  
介護職へ伝えるリスクペクト

—現役介護職と伝える 介護の魅力発信—

■開催概要

日程: 2024年12月7日(土) 13:00~16:00

場所: 岩手県立大学 講堂

内 容: 13:00~14:30

「現役介護職員と共にに行う魅力発信の大切さ」  
KAIGO PRIDE理事 小口貴幸

14:30~16:00

トークセッション

現役介護職員3名

参加費  
無料

■お申込み

QRコードもしくはお問い合わせまでご連絡くださいませ。

■講師

松永繁  
岩手県立大学 社会福祉学部講師

日本社会事業大学大学院博士後期課程修了。  
博士(社会福祉学)。

特別養護老人ホームで約10年間介護職員

として從事した後、介護福祉士養成専門学校教員等を経て現職。専門は介護福祉、介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士等の資格を有している。現在、介護福祉専門士の講談を通じて実践知識の学習を行っている。

小口 貴幸  
KAIGO PRIDE 理事

クリエイティブの力による地域活性化や  
深刻な社会課題である介護人材不足の改  
善のための活動を行っている。

介護の課題にたいしては「長期まで自分らしく生きること」バ  
バースに、「日本の介護そのもの」をブランド化するKAIGO  
PRIDEプロジェクトに取り組み、単認定ファンドレイザー。

【お問い合わせ先】

岩手県立大学 社会福祉学部松永研究室

KAIGO PRIDEとは?  
詳細はHPから

## ●NPO法人奏楽(そら)のたね

代表理事 伊藤 和美 さん

ハローワークで相談し資格を取り、高齢者施設で介護職として働いていましたが、自身の子どもに重い障がいがあり出産を機に退職。娘のケアに専念していましたが4歳で亡くなり、同じような状況の方の支えになりたいと考え、障がい専門の訪問介護事業所を立ち上げました。

医療的ケアの対応も行っています。生まれた赤ちゃんに病気や障がいがあっても、ご家族が孤独にならないように、少しでも助けになりたいと思い取り組んでいます。多くの方に現状を知っていただくことが重要だと思います。



2/16、盛岡市内の百貨店でも周知活動を行いました(岩手県介護福祉士会及び岩手県立大学社会福祉学部 松永研究室)



ご利用  
ください!

# 岩手県福祉人材センター

(社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会)



福祉・介護分野の仕事を探している人と  
人材を求めている事業所との  
マッチングをお手伝いします。



## 岩手県福祉人材センター

tel. 019-637-4522 / fax. 019-637-9612

〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手2階

E-mail: fukushijinzai-1@iwide-shakyo.or.jp



<https://www.iwide-shakyo.or.jp/jinzai/>

《開所時間》月曜日～金曜日・第2土曜日 9:00～17:00

\*土日祝日、年末年始は休みとなります。水曜日はふれあいランド岩手は休館日となりますが、福祉人材センターは開所しています。

### 介護人材マッチング支援事業・キャリア支援員活動拠点

各圏域のキャリア支援員が対応し、個別相談や介護現場の見学・体験の調整、介護に関する講習会や就職面談会の開催、資格取得に関する相談、求職者への情報発信などを行っています。お気軽にご相談ください。



県央地区

担当支援員連絡先: **080-1651-6201 / 080-1651-6202**

〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手2階

県北地区

担当支援員連絡先: **080-1651-6203**

〒028-0014 久慈市旭町7-127-3 久慈市総合福祉センター内

県南地区

担当支援員連絡先: **080-1651-6205**

〒023-0801 奥州市水沢横町2-1 水沢メイプル東館地階 奥州市パーソナルサポートセンター内

宮古・釜石  
地区

担当支援員連絡先: **080-8201-0199**

〒027-0038 宮古市小山田2-9-20 宮古市総合福祉センター内

大船渡  
地区

担当支援員連絡先: **080-8201-0200**

〒022-0006 大船渡市立根町字下欠125-12 大船渡市YSセンター内



<https://www.fukushi-work.jp/>

福祉のお仕事

検索

